

2011年7月5日

内閣総理大臣 菅 直人 様

被災者を侮辱した松本復興担当大臣の罷免を求めます

新日本婦人の会
会長 高田公子

松本龍復興担当大臣が、被災地・被災者を侮辱した驚くべき暴言をはいた問題で、こういう大臣を任命した首相の責任は重大です。松本氏をただちに罷免することを求めます。

7月3日、松本大臣は、岩手、宮城両県を訪れ、両知事に「知恵を出さないやつは助けない」「突き放すところは突き放す」と発言、さらに「本当は仮設はあなた方の仕事」「国はすすんだことをやっている。自治体はそこに追いついてこないといけない」と述べたといひます。国の施策の遅れとその責任感のみじんも感じられず、乱暴きわまりない言葉づかいで、「権力」をふりかざす「上からの目線」そのものです。

首相は、6月27日の目玉人事として「被災地に関してはもっともよく理解している方」などの理由で同氏を任命しました。松本氏は、被災者に心を寄せるといふ「復興担当大臣」としての最低の資格すら疑われ、復興を担当するにはふさわしくありません。松本氏の辞任でごまかすことなく、任命権者として罷免することをつよく求めます。